



# ENJOY ROTARY!



## ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木 喆彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 斎藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告:会員 90 名 出席 57 名 出席率 64.94 % 前回出席率 75.32 % 修正出席数 78 名 確定出席率 90.91 %

### 会長報告

高橋良士君

5月11日より5月13日までの3日間、本年度、当クラブの全員参加のプログラムで御座居ます253地区、第11回ライラ研修会が新緑の羽黒国民休暇村を中心に九里ガバナ、地区役員及び多数のロータリアン参加のもとに開催されました。

当クラブがホストクラブとなりました今回の研修テーマは新緑の爽やかな出羽三山の景観にふさわしい「ふれあい、人、みどり」でございましたが、立正大学竹下名誉教授の基調講演「奥のほそ道その旅の意味」、パネルディスカッションは土屋山名誉教授、酒井名誉会員、山口鶴岡国際交流アドバイザー、三氏のパネリストに依る「どう生きるこれからの日本人」、更に出羽三山神社林宮司の「自然に学ぶ」の講話を中心にグループ別ディスカッション、キャンプファイヤー、ウォークラリーなど熱心な研修が行われました。

この3日間、ライラ準備委員会の皆様方には参加した青少年が次の世代を担うリーダーとして立派に活動出来るように、又、青春の貴重な思い出として残るような多彩で楽しい内容の、しかも格調の高い企画をしていただき成功裡に無事終了いたしましたことをここに御報告いたします。

ライラ準備委員会の皆様方には長期間にわたり、まさに心血をそそいで用意周到な御計画と御準備をして下さいまして本当に有難う御座居ました。その御努力に対しまして衷心より感謝の意と御礼を申し上げる次第で御座居ます。

### 幹事報告

佐々木 喆彦 君

◎ 来信・通知

① 5/8 城下町シンポジウム後援についての礼状 青年会議所

## ENJOY LIFE

### 「揺籃から墓場まで」

早坂 豊太郎

福祉でよく引き合いに出てくる「揺籃から墓場まで」完備した社会保障制度の国、スウェーデンですが、その国の人達に言わせると、所得の56%が税金で、この国では老人と子供に関しては社会主義化されており“国有の家庭”はあっても国有企業はないそうです。また福祉は保障だけでなく、死ぬまで親や子供達と一緒に暮らせる日本が、はるかに幸せて、うらやましいと

のこと。私はこの一年の内で、身内と友人が10名程度入院したり、亡くなったりしておりますので、今までは、社会保険、生命保険等は払うものとしか考えていなかったし、福祉等は、酒を注文してくれる市役所の課ぐらいの認識しかなく、かろうじて父親が長らく民生委員をやった頃は大変な“仕事”をやっているものだぐらいでしたが、今頃自分の頭をよぎるのは、スウェーデンの話を読んだせいか、身内、友人を失ったせいか、年(歳)になったのか、春の高校野球の最中、自分でもわからない。

### エンジョイライフ

② 5/8 市民憲章常任委員会案内  
5/18 (金) 10:00 於セントル  
市生活環境課

③ 5/9 創立10周年記念式典案内  
6/16 (土) 小高RC  
登録 12:30~  
登録料 ¥10,000

④ 5/12 20周年記念式典参加への礼状  
余目RC

⑤ 5/14 年次大会出席の礼状  
郡山西RAC

⑥ 5/14 べにばな国体設立総会案内  
5/24 (木) 9:30  
勤労者会館 国体実行委員会

⑦ 5/14 RIニュース・ポリオプラスニュース  
1991年に選挙される国際ロータリー  
理事の指名ゾーン

RI日本支局

◎ 会報到着 東京RC

## ゲストスピーチ

# カ ラ オ ケ 放 談



こんなに多くの名士の  
方々を前に、又、素晴ら  
しい趣味をたくさんお持  
ちの皆さん方の前で、私  
ごときものがゲストスピー  
チなどと、とんでもない  
ことなんです、私も酒  
が大好きで又その様な席

に出る機会が多いのですが、ある席でゲストスピー  
チの話があり、酒の勢いでうっかりのせられてし  
まったのが運のつきでした。

覚悟はして参りましたが、せっかくの皆様が貴  
重なお時間を果たして満足出来る話になるだろう  
か、会員の中には私よりも歌の上手な方が沢山お  
られる様に思いますし、甚だ疑問でありまた不遜  
であります、20分間位ですので我慢して戴きたい  
と思います。

私は全く趣味のないのが趣味みたいなもので専  
門以外の事を何か話すようにとの注文でしたが、  
何を話すやら、はたと困ったわけですが、会員の  
大川さんにカラオケの話なども言われましたが  
私は歌は全く素人で、しかも小学校以来音楽と

鶴岡医師会副会長 中村 純氏  
国語を最も苦手としておったのですが、このよう  
なことから私には全くそぐわない肩書きの庄内な  
つメロ会の会長を引き受けていますのでカラオケ  
の放談をということで、その責任を果たさせて戴  
きたいと思います。

勿論私は音楽など正式に習ったこともありませ  
ん、全くの素人でございますが、専門家でなく、  
素人の話も又身近に感じられ、たまにはよいと思  
いますので話させていただきます。

### 私のカラオケ歴

最近のカラオケブームは皆さんご承知の事です  
が、私のカラオケの歴史は相当古く私もその時期  
ははっきりしませんが、戦後昭和30年前後頃では  
ないでしょうか。

私の開業したのが昭和34年ですが、当時はレー  
ザーなど勿論なかった時代でカラオケの機械、設  
備もなかったわけで、その場に私は歌のレコード  
を録音、カセットレコーダーを持参、すすめられ  
て結婚式などの披露宴で歌わせてもらいました。  
たしかこの会場でも中目千之先生の結婚式でうた  
ったと思います。招待され、赤城の子守歌を歌わせ  
て戴いた記憶があります。当時は飲食店も多くな

かったわけですが、たまたま店のホステスさんが私の患者さんですと、職業柄その後に来院しなくなるが多かったので、止むをえず酒田まで足を伸ばしてのみに出かけました。又、葉間屋さんのセールスに非常に歌の大好きな友人がおりましたのでその人の影響が大いにあったように思います。たまたまその友人は酒田の船場町のクラブを紹介されました。そこで今のカラオケの機械のハシリのソビックというのがありました。そこで楽しく歌うことが出来ましたので相当通いました。

毎日酒田まで通うわけにも行きませんので困ったのですが幸か不幸かそのソビックという機械は酒田のある工場で作っていたらしい、早速そのソビックを注文しました。鶴岡からの注文にびっくりし、どこのクラブ、スナックかとだいぶ質問されましたが、医者だと言うとさらにびっくりし待合室で子供に歌わせるのかと大いにひやかされました。

その頃にまだ鶴岡ではソビックは売られていなかったとのことでした。そのソビックは少しは家でも暇をみて練習もできたし又忘年会などでも大いに活躍した。その後鶴岡でも飲み歩き、ニューバッカスのママさんに話したら早速買い込みました。そして鶴岡ではニューバッカスは一番最初と思う。その後例のカラオケブームとなり今のような盛況を呈したわけである。

医師会の若手の先生の親睦会でわかあけ会という会があって毎年わかあけ誌を発刊していますが、その第8号にカラオケ放談という題で私が書きました。その中の一部を読みたいと思います。

飲みながら歌を唄うことは本当に楽しい、生理的にも大変健康上良く呼吸運動が良くなると身体の循環にもよい、こうなると健康法に効果があるだけでなくボケ防止にも役立つということですがカラオケは自分が唄って楽しいのであって人の唄っているのを聴いても余り楽しいものではない。しかし飲み屋で自分だけが唄うわけに行かないので

人の唄うのを聴くわけであるが、早くマイクがこちらに来るように催促するわけである。歌の上手な人がたくさんいるのには全くびっくりする。

本当に私はカラオケを唄って人にあまり聴いてほしいと思っていないし、又、歌手でもないのだからそれは当然のことである。

又、考え様によってはカラオケは大変難しいわけである。バンドの様にこちらに合わせてくれないからである。調子、メロディーが合わないと全く面白くなくなるわけである。又メロディーよりも早くても遅くても聴きぐるしい。どちらかという少し遅れ気味にメロディーに乗せる方が良いように思う。又、その歌詞に溶け込みその雰囲気を出せれば一人前であろう。馴れるに従ってどんなメロディーでも、どこか必ず似ているので新曲でも数回聴けば大体覚え込める。それにその歌手の歌を聴けばもう大丈夫大体2～3回でその新曲を覚えられるだろう。

#### 私となつメロ

なつメロの魅力は当時の世相が頭に浮かぶ。戦時中の苦労や楽しかった若い頃の自分が浮かんでくる。思い出がよみがえることであろう。なつメロ会は全国に相当の数があり、全国なつメロ愛好会として全国的な交流がある現在の全国なつメロ愛好会の会長さんは京都家元の俊二さんという人で機関紙なども発刊し毎年数回全国大会を行い交流を深めており、今秋10月11日より既に上山市月岡ホテルにて全国大会を行うことに決定しております。なつメロ会に山形県で既に6カ所となつメロ会が発足しており盛んに交流を深めております。鶴岡なつメロ会は即ち県下で第7番目のなつメロ会ということになります。

#### 庄内なつメロ会

少し庄内なつメロ会にふれてみたいと思います。が、ご承知の様にあの国境の町など多数の名曲を作曲して当地出身の作曲家阿部武雄先生を顕彰する会、毛呂先生を会長として発足、今は立派な顕

彰碑が鶴岡公園の“やすらぎ”の場に立派に建立されておりますが、私もなつメロが大好きな関係でその阿部武雄先生を顕彰する会に入会する羽目となりその経過の中で阿部武雄先生を慕う人々々が集まるとやがてなつメロの音楽が出、又山形その他のなつメロ会の会長さん達のすすめもあり、その他にも是非なつメロ会の発足という盛り上がりがあったように思う。しかし皆多忙で積極的に音頭をとってくださる方がいないためか、その発足の気運は一時消耗した様に思う。しかしその後期せずして同好のものが自然に相集まり、なつメロ会の発会式がもたれたようで毛呂先生、当時の鶴岡労働基準監督署署長の小松秀也氏、村上真悟氏それから阿部武雄先生の最後のお弟子さんの佐藤氏その他の人に全くペテンにかけられ私が選出され会長を無理矢理させられてしまった次第でした。

庄内なつメロ会はS.62.7.20発会式、翌月8月20日早速第1回の例会を開催しております。月1回現在は月2回、第1、第3土曜日に勤労者会館を例会場として練習をしております。

会員は現在50名足らずで男2/3、女1/3位で入会の制限はありませんが役員会で入会の可否を決定しております。

現在入会金2,000円、年会費3,000円例会費1,000円、欠会費200円で運営し、発表会やボランティアなどの経費にあてております。あまり会員が増えますと例会で1回も歌う機会がなくては参加の意義がありませんのでこれが現在1番の悩みであり、時間的な制限もありますので互譲の精神が大切と協力をお願いして運営しております。

庄内なつメロ会はS.63.12.4第1会発表会を中央公民館でH.1.12.3第2会発表会を文化会館で盛大に行いました。第1回のゲストに青葉笙子さん、昨年のゲストに80才もの高齢にかかわらず益々元気なあゝの九段の母などを唄われました、塩まさ子先生をお迎えして大変盛会でした。

今年も12月2日(日)第3回発表会をとほりきっておるところです。プロでもありませんので入場料は無料にしております。会員の負担を皆様からの広告料などで運営してきましたが多分多額の広告料をお願いしたところが沢山おありと思っておりますが、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

今年度の発表会の企画などまだ詳細決定しておりませんがまた何かと御後援御協力をお願いしなければなりませんので、その節にまた是非お願い致します。

昨年の発表会の前日にはゲストの塩まさ子先生と一緒に櫛引町の特別養護老人ホーム桃寿荘に慰問に出かけ大変感謝されました。

今後もこのようなボランティアの精神を自分達の趣味をいかして大いにやっていきたいと思っております。皆様の一層のご支援をお願い致します。

又、なつメロ会に入会の希望の方がおられましたら是非入会の申込みをして戴きたいと思っております。

#### 歌の上手になる話

最後になりますが、私は作詩家でも作曲家でもありませんし、また歌など勿論正式に勉強したこともありませんがやはり楽譜をみること、練習することでしょう。また他の人の歌をよく聴くことも大切の様です。

庄内なつメロ会の会員をみても1年間でものすごく上手になっているのがわかります。たしかに上達しています。どなたも歌を唄うことが出来ますし、また上手になる素質はだれでも持っていると思います。

どうぞ健康のためにもなつメロ会に入会はともかくとして大いに唄って戴きたいと思っております。

鶴岡の夜のちまたをにぎやかにし活性化したいと思っております。

どうも雑な話でしたがご静聴有難うございました。

## 監督



なみいる大先輩を前にして、私がお話出来る事と言えば、選挙か野球の事と言うのが常識的な事だと思います。選挙の話は生臭い面もございますので、今日の話は、高校野球の監督さんの事であ

ります。

ご存じの様に高校野球の監督さんというのは、無給でございます。勤労奉仕の持出しと言うのが高校野球の監督です。甲子園へ行くところは別として、この辺の監督はこのタイプです。

監督さんには、瞬間湯沸し機型、精神力型、手とり足とり型、何も言わない仏型の四つの型に分類されます。みなさんが容易に想像できるのは精神力一辺倒と言う監督さんではないでしょうか。明大の故島岡監督に代表される型です。島岡監督で有名な話は、「お前が何とかしろ」としか言わなかったということです。技術は一切関係なくこの一言だけで何十年も監督をされた人でした。

私の高校時代、やはり精神力一辺倒と言う監督がいました。その方は、キセルを持って教壇に腰を掛け、タバコをのみながら授業をしたという型破りな先生だった訳です。山高、九大共に応援団長を務めた方で、島岡監督と経歴もよく似ていました。ひとつ違うのは、1年しか監督をしなかったということです。

我々が3年生の時は強くて、県大会まで行きました。監督は県大会でただの一度もサインを出した事ありませんでした。選手の交替も指示しないと言う何とも気楽な監督でした。それではベン

早坂 豊太郎 君

チの中では何をしているかと言うと、攻撃はグラウンドを見るんですが、守備になると一切見ない。我々の守備が下手糞なので見るにしのびなかったということがあったかもしれませんが、守備の時はベンチの隅に行ってお守りを出し、それを一生懸命拜んでいるんです。ピンチになると目をつぶって熱っぽく祈ると言う監督でした。

その姿を見まして、我々は、非常に感動しましたが、一面では呆れかえった訳です。よくこれで監督といえるものだと思いました。

とにかくその時は調子がよく、1回戦、2回戦、3回戦と勝ち、準決勝まで来ました。決勝前日「明日は勝つ」「絶対に勝つ」と確信していたようでした。勝つと仙台で東北大会が予定されていました。日程的に鶴岡まで帰ってまた出直すと言う訳には行きませんでしたので、監督は、鶴岡で有名な士族の方で荘内銀行にも顔が効く訳です。その日荘内銀行山形支店へ3時過ぎに行き、10万円借りてきました。この金さえあれば、絶対大丈夫だからこころおきなく戦ってこいと試合前気合いを入れられましたが、金を見せられて頑張らされているような感じがしました。

試合が始まるとこの日は自信満々で、守備の時でもグラウンドを見ていました。ここまでくれば、勝ったと思いつているようでした。その試合、1回表の守備では、四球はだす、エラーはするで、5点を取られてしまいました。そしたら2回以降は、またお守りを出して拜むようになりました。それが効果があったのか2回以降は0点で押え、少しずつ加点して、5対5までできました。しかし9回表に打たれて6対5になり、裏の反撃も及ばず負けてしまいました。

さて、負けて我々が、一番気になったのは、仙台に行くお金がどうなるかと言う事でした。監督は、それを返す素振りは見せず、鶴岡駅でも、残念だったといって別れました。我々の当時のクラブ年間予算は、9万8千円だったので大変気になっていました。

その後私は4年間、東京の大学にいき帰ってきました。懐かしくて高校のグラウンドへ行ったら後輩が練習をしていました。阿部君もその時いたはずですが、また、お世話になった皆川運動具店にも寄りました。その時我々の年度に多額の未払金があったのを知り、仲間4人と相談して年賦で支払いました。年賦を払っていて思い出されるのは、あの10万円がどうなったかと言う事です。荘内銀行には返されていないと言うことでした。荘内銀行にあれば寄付したのかと聞いたところ、寄付でもないんだが…と困った顔をしていました。

地方の監督さんというのは、土日返上でやっています。家業などなげうってやってらっしゃる訳です。私が高校時代、島岡監督に匹敵するすばらしい監督さんにめぐり合えて、すばらしい青春時代をおくらせて戴いた事に感謝しております。

## 退会挨拶

中澤 進君



此度、社命による転勤で鶴岡ロータリークラブを退会することになりました。私が鶴岡へ赴任して参りましたのは4年目の5月9日でした。丁度今と同じように、庄内平野の田ん圃に水が張られ、田植の美しい季節でもありました。

サラリーマンの宿命で転勤は己む得ないと言うものの、この四季折々に美しい自然と、暖かい人情の中で過ごしたこの地を離れることは誠に残

念であり、後ろ髪を引かれる思いでございます。

また赴任と同時に、伝統ある鶴岡ロータリーの仲間入りをさせて頂き、識見豊かで文化的素養の高い皆様と接することが出来、大変勉強になり、自分のこれからの人生にとって大きな財産を得たような感が致します。

ロータリーの活動では十分にお役に立てませんでしたが、自分の職業を通じて社会奉仕する………という点ではいささかなりとも、貢献できたものと思います。

これから赴任する先は茨城県の水戸市ですが、家庭の事情により、再び単身赴任で参りませぬ。

鶴岡での単身生活でノウハウが出来ましたので、新任地でも頑張りたいと思います。最後に皆様のご交誼に感謝申し上げますと同時に鶴岡ロータリーの益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念して退会の挨拶と致します。

## ピジター

阿部 興二君(鶴岡東RC)

佐藤 憲君( ” )



## 29日(火)のプログラム予定

ゲストスピーチ

鶴岡ケンウッド社長

永原 秀治氏